

こども食堂 フォーラム

申込方法

11月9日（水）までに、下記のいずれかでお申込みください。

①QRコードにアクセスし、申込みフォームからお申込みください。



②事務局（070-1455-0017）までお電話ください。

※定員を超えてご参加いただけない場合のみ、事務局からご連絡いたします。

■ご来場の際のお願い

- ・37.5度以上の発熱や風邪の症状のある方は、ご来場をお控えください。
- ・場内ではマスクの着用をお願いいたします。
- ・手指消毒やこまめな手洗いに協力ください。
- ・場内での大声での会話はお控えください。また、ソーシャルディスタンスの確保にご協力ください。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、開催がオンラインになる可能性があります。その際はメールまたはHPにてお知らせします。

お立ち寄りください！
情報コーナー＆
相談ブース
12:10～16:30

<情報コーナー>

埼玉県内で子供の居場所活動に取り組む団体や、全国の子供の居場所活動を支える中間支援団体の情報展示コーナーを設置します。

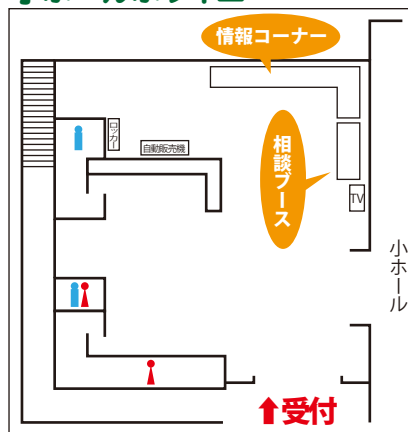
■情報展示団体

- ・一般社団法人埼玉県子ども食堂ネットワーク
- ・NPO 法人埼玉フードパントリーネットワーク
- ・埼玉冒険遊び場づくり連絡協議会
- ・認定 NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえ
- ・一般社団法人全国食支援活動協力会

<相談ブース>

子供の居場所活動を始めたいなど、子供の居場所づくりに関するご相談がある方は、お気軽にお立ち寄りください。

小ホールホワイエ



会場MAP 埼玉会館 小ホール さいたま市浦和区高砂3-1-4
JR浦和駅西口から徒歩6分



子供の居場所づくりにプラスとなる
情報をお届けします！



～子供の居場所を始めよう、広げよう～



※新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりオンラインになる可能性があります

長引くコロナ禍による子供を取り巻く環境の変化と、
地域で広がる子供の居場所づくり、
さらに居場所の活動を支援する企業の取り組みなどについて、
たっぷりと紹介します！

第一部 10:30～12:10

映画上映「さとにきたらええやん」

第二部 13:00～16:15

- 基調講演
「地域をつなぐ、社会をつなぐ、食堂に集う子供たちの力」
- 事例発表
- パネルディスカッション
テーマ「地域で行う子供支援の現在地と未来」



●お問合せ先 埼玉県子供の居場所づくり推進事業事務局（NPO 法人新座子育てネットワーク）
E-mail: saibasho@ccn.niiza-ksdt.com 電話: 070-1455-0017

主催 彩の国 埼玉県

埼玉県のマスコット「コバトン」&「さいたまっち」



当日スケジュール

第一部

10:00 ● 開 場
10:30 ● 映画
上映開始

12:10 ●

第二部

13:00 ● 開会挨拶
13:05 ● 基調講演

14:05 ● 休 憩

14:15 ● 事例発表

15:00 ● 休 憩

15:10 ● パネル
ディスカッション

16:00 ● 閉会挨拶
16:15 閉 会

映画上映
10:30~
12:10



第一部

「さとにきたらええやん」

見逃した方！もう一度見たい方！
無料上映

日雇い労働者の街・釜ヶ崎で38年間続く子供たちの集いの場「こどもの里」。人情が色濃く残る町の人々の奮闘を描く、涙と笑いあふれるドキュメンタリー！時に悩み、立ち止まりながらも力強く成長していく子供たちと、彼らを支える職員たちに密着。子供たちの心の揺れ動きを見つめながら、子供も大人も抱えている「しんどさ」と格闘する人々の切実な姿を描き出しました。

事例発表
14:15~
15:00

第二部

子供の居場所活動を行う団体や、
子供の居場所活動を支援する企業の事例を紹介します。



「コロナ禍でも野外で思いっきり遊べるプレーパークの魅力」
圓山りか氏 大宮プレーパーク・ねっこの会代表

息子が3歳の頃からプレーパークに通い、大宮プレーパーク実行委員会（現 大宮プレーパーク・ねっこの会）に参加。2017年度から代表。平日はこども園や他プレーパークにて勤務。子育ては「ながら見守り」がオススメ。



「子育て世帯の孤立をなくせ！おむつ宅配便事業」
添田大智氏 NPO法人こどもの居場所づくりinかわぐち事務局長

2016年から事務局長に就任。
コロナ以前は川口市内で子ども食堂を4箇所運営。
現在は、空き家を借りた居場所づくりやお弁当での子ども食堂、子育て世帯を見守るおむつ宅配事業の運営に携わる。



「街全体で取り組むフードパントリー支援」
恩田美也子氏 株式会社まちづくり川越 営業企画・広報

コロナ禍において、自社運営店舗の商品が廃棄されていくのを見て、SDG'sの取り組みとして、フードパントリー支援の方法を模索。2021年3月から地元の商店街連合会や金融機関に協力を仰ぎ、「蔵里おやつステーション」を立ち上げる（実務を担当）。まちづくり会社という特性を生かし、街全体での支援活動を継続している。

基調講演
13:05~
14:05



第二部

「地域をつなぐ、社会をつなぐ、
食堂に集う子供たちの力」

栗林知絵子氏

認定NPO法人

豊島子どもWAKUWAKUネットワーク理事長

2004年から池袋本町プレーパークの運営に携わり地域活動始める。
自他共に認める「おせっかいおばさん」である。
地域の子供を地域で見守り育てるために、プレーパーク、無料学習支援、子ども食堂など、子供の居場所を介し、子供と家庭を伴走的に支援している。

パネル
ディスカッション
15:10~16:00

第二部

テーマ

「地域で行う子供支援の現在地と未来」

◆コーディネーター

米田佐知子氏 子どもの未来サポートオフィス代表

1996年、子育て当事者によるまちづくりNPO子育てまち育て塾を立ち上げる。NPOの中間支援活動に関わり2001年以降、神奈川子ども未来ファンドの設立運営に参画。事務局長として10年間、ファンドレイジング・助成プログラムの実務を行う。2013年「子どもの未来サポートオフィス」を立ち上げ、子供・子育て支援の社会資源をつなぎ、CSRやNPOなどの支援を行っている。神奈川こども食堂・地域食堂ネットワーク世話人。



◆パネリスト

関根守氏 一般社団法人埼玉県子ども食堂ネットワーク副代表

2019年8月に吉川青年会議所メンバーから有志を募り、よりよいまちづくりの一貫として地域食堂「よつば食堂」を立ち上げた。その後、コロナ禍の影響により問題を抱える家庭への更なる支援として、吉川市内の子ども食堂合同でネットワークを立ち上げ、パントリー事業を行っている。



草場澄江氏 NPO法人埼玉フードパントリーネットワーク理事長

小学校教師を経て、平成28年に越谷市で子育て仲間と共に子ども食堂を開始した。また、子育て世帯を対象としたフードパントリーを平成30年に県内で初めて立ち上げ、翌年には県内のフードパントリー団体からなるネットワークを設立。現在まで理事長を務めている。民生委員・主任児童委員。



中山篤信氏 アルファクラブ武蔵野株式会社 経営企画室 部長

冠婚葬祭事業は「子供に夢を与えるべき」と、いち早く声を上げ、同社の施設（県内100箇所）や車両を利用した子供支援を実施。特に「子ども食堂」「フードパントリー」「学習支援」を数多く開催している。県と2021年に「子供支援に関する協定書」を締結した。

